



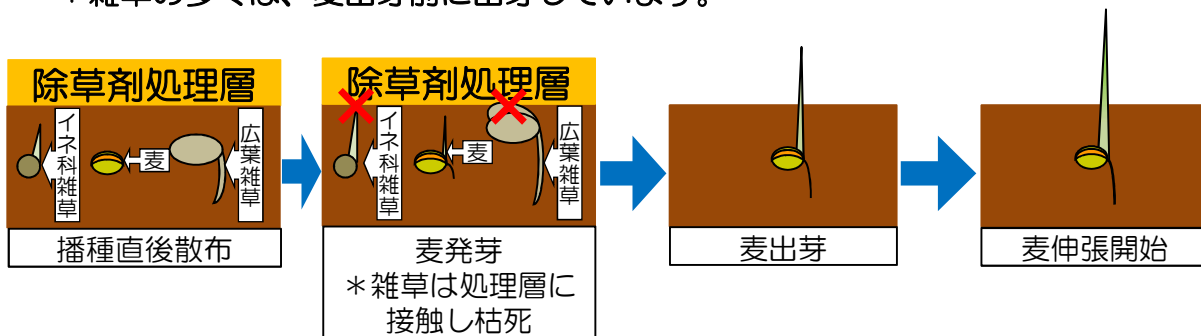
播種後～生育初期の管理作業

(収量・品質向上対策は播いた直後から！)

1. 播種後の雑草対策 ～雑草との競争に先手を打ちましょう！～

＊ポイント

- ① 播種と除草剤散布は連続作業で！
* 雑草の多くは、麦出芽前に出芽しています。



- 播種後に地表面を除草剤処理層で覆うことが、初期除草の決め手です。

② 初期除草剤の例

* 農薬ラベルを確認し、適切に使用しましょう！

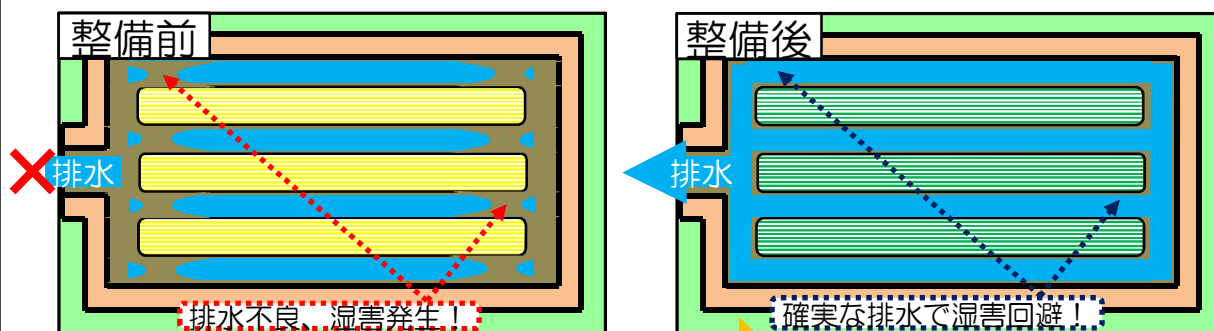
| 薬剤名 | 散布時の注意 | | 使用上の注意 | |
|-------------|-----------|---------|--|------|
| | 使用量 | 散布量/10a | 使用時期 | 回数 |
| リベレーター-G | 4～5kg | — | 播種後～麦2葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで) | 1回 |
| リベレーターフロアブル | 60～80ml | 100L | 播種後～麦3葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで) | |
| ボクサー乳剤 | 400～500ml | 70～100L | 小麦 播種後～麦4葉期 裸麦 播種後～麦2葉期 (雑草発生前～発生初期まで) | 2回以内 |

- 使用時期ギリギリの散布では、除草効果が低下し生育期の雑草害を招きます。「種を播いたらすぐ除草剤散布」を心掛けましょう。

2. 排水溝の整備 ～確実な排水で、湿害知らずの麦栽培！～

＊ポイント

額縁と畦溝の継ぎ目に注意！ * 土が崩れ、詰まりやすい箇所です。



- 健全な初期生育が収量・品質向上の第一歩です。